

# としま TOKARA 議会だより

令和 8 年 2 月発行 (年 4 回発行) Toshima Village No.112



R7.9.13 悪石島

夏祭り・敬老会・ファミリー劇場の 3 点セットで大いに盛り上がりました。

## 【編集】

今回の議会だよりは、  
4 名の議員の一般質問と  
14 議案の議決結果を中心に  
編集しています。

議長	坂元 勇
議会広報調査特別委員会	
委員長	竹内 功
副委員長	中島 次男
委員	中村 勇貴
委員	荻口 裕之
委員	日高 助廣
委員	永田 和彦
委員	赤木 芳樹

## ○令和 7 年 12 月定例会

12 月 8 日～ 12 月 10 日 (3 日間)

- ・専決処分の承認 2 件
- ・条例の改正 1 件
- ・令和 7 年度補正予算 7 件
- ・物品売買契約 2 件
- ・工事請負契約締結 2 件

計 14 議案

# 一般質問

## へき地診療所等の運営について



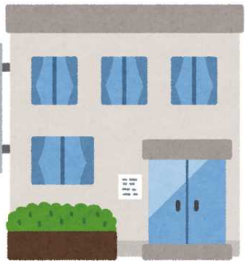
中村 勇貴議員

**問** 1名体制の島の診療所看護師の採用の見通しについて

**答** (村長) 5名の不足がある中、12月中旬に3名の採用が出来ているが残り2名は採用できていない状況である。村HPや看護協会への募集に加え、看護師専門募集サイトへの登録等も検討し早期の全島2名体制を図っていききたい。

**問** 災害等で停電した際の各島診療所の備えについて

**答** (村長) 停電に備えて、非常用発電機を各診療所に整備している。電子カルテシステム整備に伴い、ポータブル蓄電池についても整備予定である。



**問** 天候や定期船トラブル等により長期に薬品が届かない場合の対策について

**答** (村長) 通常であれば2カ月分程の保管がある為、ある程度の期間は対応が可能である。これまで、薬剤はFAXやメール等で業者に発注していたが、11月から発注システムを導入しウェブ上でタイムリーに注文が可能となっている。発注予約機能もあり、発注忘れを防ぐこともに長期間使用されていない薬の情報も得ることが出来る。今後は、在庫管理システムも導入し、発注・消費・棚卸をより正確にあたり効率的に進めていきたいと考えている。又、緊急の場合は、村の高速船や海上タクシーでの輸送で対応することとしている。

**問** 点検等について

**各島発電機は動く・使える状態なのか**

**答** (住民課長) 使えない島もいくつかあると確認しているが、現業職の方に見てもらい直してもらったケースもある。適時稼働できるか確認しつつ完全に動かない場合は、入れ替えも含めて考えていきたい。

**問** 山海留学生を受け入れる際の医療面での支援について

**答** (教育長) 山海留学生を受け入れるにあたって、全員に既往症やアレルギー等の申告をしていただいている。下見見学後に、地域内での受け入れが妥当か寮監や学園関係者・看護師・住民課保健師を含めて協議をしたケースもある。今後も、診療所看護師と意見を共有しながら受け入れをしていきたい。

行政に伝えたい！医療体制について

診療所においては、1人にかかる負担がとても大きいため、早急に2名体制を整えていただき、働く環境改善をしてもらいたい。

また、山海留学生の中には身体的・精神的に抱えているものがある子どももいるため、今後も医療関係者や学校関係者と常に連携をとり、受入れ等を行ってほしい。

〈Youtube 配信〉  
2:33:20 ~  
中村議員一般質問



# 一般質問

## ・本村の医療体制と現状について



永田 和彦議員

### 問 電子カルテ導入について

答（村長） 10月から12月上旬で導入している。医師・看護師との協議や意見聴取に関しては、毎月実施している看護師カンファレンスの中で、課題や不安の解消に努めている。システムについては、操作しやすいものを選定しており、慣れていけば十分対応が可能だと考えているが、運用面は他の導入事例や関係機関の協力も頂きながら、不安の解消に努めていくこととしている。本格的な運用開始は来年4月とし、それまでの間、システムのマスター登録作業・操作の習熟訓練・運用面でのマニュアル整備を進める。紙カルテからの移行作業については、12月から進める予定としている。

### 問 紙カルテから電子カルテへの移行について

答（村長） 診療の継続性を確保するために必要な最低限の医療情報に絞って、「基礎的な患者情報・氏名・生年月日・住所・保健情報・定期薬」等を中心に電子データとして移行する方針である。一方で、診療継続上の必要性が低いと考えられる情報については紙カルテを法定保存期間は適切に保管することで対応することとする。移行作業については、業者への業務委託で作業を進め、看護師には入力情報に誤りがないか確認をしてもらうことで進めたいと考えている。

### 問 各島診療所の医療機器について

答（村長） ヘッドサイドモニター・解折付き心電図検査装置・分包機・滅菌器・電子血圧計など、一定のものは各診療所で共通して配備している。一部の医療機器については、患者の状況や利用頻度に応じて、一部の島のみ設置しているものもある。毎年、各診療所に要望を取り村の財政状況も踏まえて整備や更新を進めている。

機器の整備についても、医師等の意見も賜りながら積極的に検討していきたい。

### 問 馬毛島への空自救難隊の配置について

答（村長） 令和4年9月議会において、議会から意見書が提出されたことに合わせて、村からも要望書を提出している。現在、回答や発表を待っている状態であり進捗状況についての情報は無い。今後も、関係市町村と足並みをそろえて要望をし続けていきたいと考えている。

行政に伝えたい！空自救難隊の配置



馬毛島への空自救難隊の配置については、急患対応の際に医療機関までの搬送時間の短縮につながっていくため、議会・執行部あわせて国に強く求めていける体制を作り、実現していきたい。

〈Youtube 配信〉  
4:02:50 ~  
永田議員一般質問



# 一般質問

・カスタマーハラスメントについて ・産業振興について  
・地域の結束力向上と島間連携の活性化について



埜口 裕之議員

**問** 本村におけるカスタマーハラスメントの把握状況と発生状況の程度について

**答** (村長) 村内の職員がハラスメントを受けたときはまず、役場職員・担当課長に相談があり、担当課長から総務課長に相談され、事案によっては村長への報告がある。厚生労働省が定めたパワーハラスメントの指針や人事院の運用通知等に照らし合わせると、ハラスメントと捉えられるような事案は、年に数件の相談がある。

**問** SNS上での誹謗中傷について

**答** (村長) SNS上での誹謗中傷は、把握していないのが現状である。これまで、相談や報告もないため対策していないが、今後増えてくると想定されることから対策が必要になってくると考えている。

**問** 職員を保護するための対策について

**答** (村長) 担当職員や課長に相談があった後、案件ごとに事実を確認し必要な対応を取っている。本庁職員に相談しづらい場合、鹿児島県の人事委員会公平委員会に相談することができ、総務課長に連絡があり結果を報告する形となっている。

**問** 生産施設整備補助事業について申請時における事業計画の妥当性や実現可能性をどのように確認を行っているか

**答** (村長) 実施計画年度の前年11月頃に事業の要望調査を行い、提出された要望を査定した上で予算を計上している。査定段階で、不明点や滞納確認をするなどして事業実施前に申請書及び事業計画書を提出してから開始させている。また、完成後は、実績報告をもって添付された領収書や写真で確認を行っている。

**問** 補助金による設備導入後、転居等を理由とした早期売却・転用防止のルールや対策について

**答** (村長) 転居等を理由とした早期売却や転用については、補助金の全額返還または2分の1返還を定めている。

**問** 肉用牛増頭及び改良事業における繁殖雌牛の譲渡条件及び運用について

**答** (村長) 事業により導入した肉用牛繁殖雌牛は、共済への加入や経費負担等も含めて適正な飼養管理をされている場合、貸付日から5年以内に譲渡を行うものとしている。

既存農家が対象である増頭及び改良対策事業で導入したものについては、譲渡後に貸付額の2分の1の16万5千円を返納していただき譲渡を行うとしている。

**問** 住民の島間交流に対し、村として支援や補助制度の検討は行っているか

**答** (村長) 既存の施策は、老人クラブが他団体と交流する際の経費の一部を助成する制度や村内の団体が地域の文化芸能を発信するために島外と交流を行う場合の経費の一部を助成する制度がある。その他は、住民や地域のニーズ、目的の有効性や持続性を確かめながら検討していきたい。

<Youtube 配信>

30 : 45 ~

埜口議員一般質問



# 一般質問

## ・移住施策、産業振興についての現状と今後の展望について



竹内 功議員

**問** 移住施策・産業振興についての現状と今後の展望について

**答** (村長) 現在の人口については、11月末時点で人口654人世帯数373世帯となっており4月以降減少が続き、650人を割り込む寸前という状況である。

このような中、地域おこし協力隊の制度を活用した移住促進に力を入れ、11月末までの隊員数は8名となっている。これまでの定住率は、30.4%で人口対策に一定の効果があつたと捉えているが、42.6%の隊員は途中退任しているため状況を改善し定住者の定着を図っていくことが課題である。

今年度は、地震の影響で移住イベントに参加できなかつたり、マイナスイメージを持たれてしまつたりしたことが要因にもある。移住体験ツアーへの参加をきっかけに、移住する人が増えることを期待して、来年度から実施する事ができないか検討をすすめている。

行政に伝えたい！〜農業振興について〜

農業を振興していく上で、機械等の基盤整備が足りていない地域があると思う。共同で使える農業機械の集約化等を考え、全島一丸となつてやっていける施策を進めてほしい。

〈Youtube 配信〉  
2:00:35〜  
竹内議員  
一般質問



(正)

令和6年度 歳入 単位:千円		
自主財源	村税	90,379
	繰入金	386,654
	繰越金	154,949
	寄付金	25,164
	その他	186,099
	計	843,247
依存財源	地方交付税	1,903,355
	国庫支出金	1,559,401
	県支出金	510,454
	村債	938,146
	その他	52,794
	計	4,964,149
合計		5,807,397

※千円未満四捨五入

(誤)

令和6年度 歳入 単位:千円		
自主財源	村税	843,247
	寄付金	25,164
	繰入金	386,654
	繰越金	154,949
	寄付金	25,164
	その他	186,099
計	843,247	
依存財源	地方交付税	1,903,355
	国庫支出金	1,559,401
	県支出金	510,454
	村債	938,146
	その他	52,794
	計	4,964,149
合計		5,807,396

※千円未満四捨五入

11月発行の、議会だより11月号の4ページにて掲載していた令和6年度一般会計の歳入表に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

議会だより11月号 No.111 に関するお詫びと訂正について

# 議決結果

十島村議会令和7年12月定例会

全て全会一致で原案のとおり可決致しました。

(議決結果)

## 令和7年第4回(12月)十島村議定会定例会

議案番号	件名	議決年月日	議決結果	議決番号
報告第8号	令和7年度十島村一般会計予算補正の件(第5号)	R7.12.09	承認	承認 第6号
報告第9号	契約締結の件(悪石島小石浜線道路災害復旧工事請負契約)	R7.12.09	承認	承認 第7号
議案第63号	十島村火災予防条例の一部を改正する条例制定の件	R7.12.10	原案可決	議決 第63号
議案第64号	令和7年度十島村一般会計補正予算(第6号)	R7.12.10	原案可決	議決 第64号
議案第65号	令和7年度十島村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	R7.12.10	原案可決	議決 第65号
議案第66号	令和7年度十島村船舶交通特別会計補正予算(第3号)	R7.12.10	原案可決	議決 第66号
議案第67号	令和7年度十島村介護保険特別会計補正予算(第2号)	R7.12.10	原案可決	議決 第67号
議案第68号	令和7年度十島村簡易水道特別会計補正予算(第2号)	R7.12.10	原案可決	議決 第68号
議案第69号	令和7年度十島村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	R7.12.10	原案可決	議決 第69号
議案第70号	令和7年度十島村へき地診療所運営事業特別会計補正予算(第3号)	R7.12.10	原案可決	議決 第70号
議案第72号	財産の取得について議決を求める件(流通用コンテナ物品売買契約)	R7.12.10	原案可決	議決 第71号
議案第71号	財産の取得について議決を求める件(待合所コンテナ物品売買契約)	R7.12.10	原案可決	議決 第72号
議案第73号	契約の締結について議決を求める件(東之浜港改修工事請負契約)	R7.12.10	原案可決	議決 第73号
議案第74号	契約の締結について議決を求める件(小宝島港改修工事請負契約)	R7.12.10	原案可決	議決 第74号
	議会運営委員会の所掌事務の閉会中の継続調査の件	R7.12.10	決定	